



# せせだ

## 議会だより

No. 182

2024.2.1発行  
岩手県山田町議会



12月  
定例会

物価高騰対策に給付金 — 2P

町政を問う (9人が一般質問) — 5P

傍聴席からひとごと～山田高校生の「視点」～ — 14P

### シリーズ 家族の笑顔

田の浜地区在住の佐々木さん家族。  
町への提言、思いを伺いました。  
(関連記事P14)

令和5年12月定例会は、12月12日から14日までの3日間にわたって開かれました。本定例会では、町長提案の条例改正8件、補正予算7件（一般会計【6号】）などを含む議案21件を審議

し、すべて原案どおり可決されました。12日、13日に行われた一般質問（掲載記事5ページ13ページ）では、議員9人が登壇し、活発な議論が行われました。

定例会の議案審議や一般質問での質疑全文を記録した会議録は、令和6年6月下旬ころから、議会ホームページなどで閲覧可能となる予定です。

## 令和5年内にスピード給付

本定例会では、国の令和5年度補正予算が成立したことに伴い、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けている世帯への経済的な負担軽減を図るため、「物価高騰対応臨時給付金事業」、「福祉灯油助成事業」、「子育て世帯物価高騰対策支援金給付事業」などを行うための補正予算が提案され、原案どおり可決・承認されました。

ここで、補正予算提案前に開催された議会全員協議会での質疑を紹介します。

### ■質疑応答

**問** 物価高騰対応臨時給付金事業について、別の自治体では令和5年12月中の給付はでき

ないということを知りました。当町の場合は12月中に給付できるか。

**福士長寿福祉課長** 既に対象の世帯へは通知を発送済みで、12月中旬に振込予定である。

**問** 福祉灯油助成事業について、電気代、灯油代が非常に高騰しており、ストーブなどを使うのを我慢している人がいる。世帯当たり7千円の給付は非常にありがたいが、ここになんとか上乘せをして1万円の給付とならぬものか。

**長寿福祉課長** 物価高騰対応臨時給付金事業の給付金を12月に先行して実施し、福祉灯油事業については、令和6年2月の給付となる。これらを併せて乗り越えていただきたいと思います。と考えている。

**要望** 2月は1番寒い時期である。他の自治体では1万円というところも出てきているようである。なんとか上乘せしていただきたい。

**問** 子育て世帯物価高騰対策支援金給付事業について、低所得の子育て世帯に対する給付については、現在国において検討中とのことだが、予算計上の方法はどのように考えているか。

**佐藤政策企画課長** 国から詳細な内容が町に届いていないので判断が難しい。  
**要望** 町民に早く給付金が届くように願います。

## 物価高騰対策に給付金 対象の世帯へ7万円



# 議案内容と審議結果

全て原案のとおり可決されました。

※この号の金額の記載は、個別の記載がない限り全て1万円以下切り捨てです。

議案番号	議案及び内容
条例制定及び一部改正	
第49号	地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例 (会計年度任用職員に対する勤勉手当の支給に関する改正など)
第50号	山田町下水道事業の設置等に関する条例 (公営企業会計に移行するための条例制定)
第51号	一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例 (人事院勧告による給料月額等の引き上げ改正)
第52号	特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 (人事院勧告による期末手当の引き上げ改正)
第53号	山田町税条例の一部を改正する条例 (地方税法などの改正によるもの)
第54号	山田町手数料条例の一部を改正する条例 (国の政令改正などによるもの)
第55号	山田町立学校に関する条例の一部を改正する条例 (船越小学校の閉校に伴う改正)
第56号	山田町子ども・子育て会議条例等の一部を改正する条例 (子ども家庭庁設置法の施行等に伴う改正)
事 件 案 件	
第57号	財産(動産)の取得に関し議決を求めることについて (山田小学校の学習机・椅子の購入)
第58号	財産(動産)の取得に関し議決を求めることについて (山田小学校屋内運動場折りたたみ椅子の購入)
第59号	旧山田町ふるさとセンター解体工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについて (富山建設株式会社 請負金額5250万円)

議案番号	議案及び内容
事 件 案 件	
第60号	旧豊間根中学校校舎解体工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについて (吉川建設株式会社 請負金額1億1121万円)
第61号	山田町B&G海洋センター体育館改修工事の請負変更契約の締結に関し議決を求めることについて (正三建設株式会社山田営業所 829万円増 請負金額6989万円)
第68号	山田町林産物展示販売施設改修工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについて (施設全体のリニューアル工事 株式会社佐賀組 請負金額2億6290万円)
令和5年度補正予算	
第62号	一般会計(第5号)の専決処分に関し承認を求めることについて (物価高騰対応臨時給付金事業 1億6300万円を追加)
第63号	一般会計(第6号) (農道維持補修工事費320万円、除雪機借上料656万円、総合運動公園給水施設改修基本設計業務委託料1710万円などを追加)
第64号	国民健康保険特別会計(事業勘定)(第1号) (高額療養費2000万円、財政調整基金積立金1億5405万円などを追加)
第65号	介護保険特別会計(事業勘定)(第1号) (施設介護サービス給付費370万円などを追加)
第66号	漁業集落排水処理事業特別会計(第2号) (大浦排水処理区での修繕料103万円などを追加)
第67号	公共下水道事業特別会計(第2号) (小型マンホールかさ上げ修繕料89万円などを追加)
第69号	一般会計(第7号)(福祉灯油助成事業1404万円、子育て世帯物価高騰対策支援金給付事業4519万円、町道新田・繫線道路改良工事費1450万円などを追加)

■ 議会改革検討  
特別委員会の設置

第4回定例会において、議会改革検討特別委員会が設置されました。山田町議会の各種改革に関する調査、検討を目的とし、議長を除く議員13名で構成されます。委員長は豊間根信議員、副委員長は山崎忠弘議員です。設置期間は、令和5年12月13日から9年9月10日までとなっています。



佐藤克典 議員

■ 監査委員の選任

第3回定例会において、議会選出の監査委員に佐藤克典議員を選任することについて同意し、11月1日に町から委嘱されました。佐藤議員は前期から引き続きの選任となり、2期目となります。

ここが  
聞きたい

# 町政を問う

## 一般質問 9人登壇

12月定例会での一般質問は、12月12日と13日の2日間にわたり行われ、9人の議員が一般質問をし、活発な議論が展開されました。

質問議員 (掲載ページ)	質問事項
昆 清 (5 ページ)	○陸上養殖について ○介護保険料について ○漁業者の収入減対策について ○森林環境譲与税の用途について ○消防指令本部の共同化について ○鳥獣被害対策について
佐々木 慶信 (6 ページ)	○部活動の地域移行について ○不登校対策について ○教育予算の拡充について ○山田中学校部活動数の見直しについて ○県立山田高等学校の支援について
山崎 忠弘 (7 ページ)	○山田町民のための医師を養成する奨学金制度の創設について ○防災士の計画的育成について ○産直ひろば「ふれあいパーク山田」の今後について
豊間根 信 (8 ページ)	○豊間根小学校のトイレ設備の整備について ○豊間根地区の下水道等の整備計画展望について ○やまだ斎苑前交差点への注意喚起対応について
山崎 泰昌 (9 ページ)	○町内インフラの維持、整備について ○町内経済の活性化について
中屋 佳信 (10ページ)	○境田地区伝作周辺の安全確保と環境改善について ○中央公民館自主事業の再開及び文化芸術活動について ○山田小学校プール（町民プール）の有効活用について
関 清貴 (11ページ)	○長崎地区等の公園の施設整備の充実について ○空き家状況について ○農業について ○山田中学校の校庭の整備について ○水道未給水地区について ○水産業について ○総合運動公園第2グラウンドについて
木村 洋子 (12ページ)	○豊間根小学校と公共施設のトイレの浄化槽化について ○災害公営住宅の空室について ○医師および医療関係者の育成について ○産後ケアについて ○物価高騰について
菊地 光明 (13ページ)	○山田北インターについて ○事業振興について ○漁業について ○財産について ○環境整備について ○国土調査について ○追悼式について ○教育行政について

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針、政策的提言や行政の課題などを町長などに報告を説明を求め疑問点を質す（ただす）ことです。議員の質問時間は1人20分以内で、町側の答弁時間は含みません。紙面の都合上、掲載できなかった一般質問は、6月下旬ころから議会ホームページ、図書館で閲覧可能となる予定です。



議員 清 恭生 ( 新 生 会 )

## 問 有害鳥獣捕獲報奨金上げよ

## 答 前向きに考える

**問** ニホンジカをはじめとする野生鳥獣による農林産物への被害が拡大しており、特に、原木シイタケに使われる植林した広葉樹の苗木などの被害が顕著であり、生産者は強い不安を抱いている。本町の対策について伺う。

**佐藤町長** 広葉樹の苗木については、森林所有者が植林の際に苗木に食害対策資材を設置するなど、対策を講じているところである。本町の対策としては、山田猟友会会員で組織する「山田町鳥獣被害対策実施隊」を設置し、有害鳥獣の捕獲や追い払い、被害状況の確認を行っているほか、農



山田のおいしい農林産物を守りましょう

林業者等を対象に電気柵等の購入費に対する助成を行うなど、鳥獣被害の防止に努めているところである。

**問** 数年前からイノシシの目撃情報が相次いでおり、被害の拡大が一層懸念される状況と

なっている。本町の対策について伺う。

**町長** 目撃情報や被害報告の多い地区にイノシシ用の囲い罫を設置したり、山林で巻き狩りを実施したりするなど、対応を強化しているところである。

**問** 狩猟従事者は、本町で現在何人おり、育成や捕獲技術の開発普及について、どのような支援をしているのか。

**町長** 令和5年11月末現在の本町の狩猟従事者数は33人となっている。狩猟従事者の育成や捕獲技術の開発普及については、イノシシ捕獲技術講習会への参加や、町などで組織する山田町有害鳥獣被害防止対策協議会による狩猟免許取得費の一部助成のほか、令和5年8月に実施された「県に対する市町村要望」において、捕獲技術の開発・普及などについて要望したところである。

**問** 山田町有害鳥獣被害防止対策協議会の1

頭当たりの捕獲報奨金は幾ら支援しているか。

**佐々木農林課長** ニホンジカとイノシシについては、1頭当たり8千円となっている。3月、4月は繁殖前の駆除強化月間として、1頭当たり2千円を加算している。

**問** 熊なども当てはまるのか。

**農林課長** 熊の駆除に報奨金は支払われていないが、活動費として助成している。

**問** 今後、報奨金の上乗せの検討はないのか。

**町長** イノシシは多産で、豚熱等も運んでくる。費用対効果等を考えながら、前向きに考えていく。

### その他の質問

- ◆ 大学と連携したよそにはない陸上養殖を
- ◆ 森林環境譲与税の用途は
- ◆ 介護保険料見直しの影響は
- ◆ 消防指令本部共同化の状況は
- ◆ 漁業者の収入減対策は

## 問 県立山田高等学校の支援は

## 答 今後も継続した支援を実施



議員 信 慶 木 々 佐  
（令和新风会）

**問** 山田中3年の生徒数は令和6年105人そして10年後82人となる見込みである。生徒減少が進む中、地域がどのように地元の高校と関わりを持つかが問われている。葛巻高では「山村留学」、沼宮内高「地域みらい留学」、大槌高「はま留学」などがある。これからも山田高校を存続させていくためには町としても強力な支援策を打ち出していかなければならないと考える。

山田高校は、ポータ部のインターハイ出場や、海の運動会そして山田町について深く学ぶふるさと探究活動等いろいろなこと意欲



山田高校存続のため力を合わせましょう！

的に取り組んでいる活気ある学校で、地域の誇りである。ぜひとも地元には必要な学校と考える。そこで、町のこれまでの支援と今後

の支援計画を伺う。  
**佐藤町長** 町では、高校生議会に向けたワークショップの実施や、町広報紙で山田高校を取り巻く現状と課題、

生徒の活躍する姿などを伝えていくほか、令和4年度からは「山田高校魅力向上応援補助金」を交付するなど、様々な取組を行ってきた。また、本年度の県に対する市町村要望において、本町唯一の県立学校である山田高校の存続について要望を行っている。今後も課外活動等へ協力するとともに、引き続き高校側や関係機関と連携しながら、入学者の確保につながる取組に支援していきたいと考えている。

**問** 山田高校への進学者、受検者が減っている状況がもうそこまで来ているというところで、「地域みらい留学」制度を県内他市町村では9校が導入している。他市町村の取組を

どのように捉えているか。  
**佐藤政策企画課長** 町内の小中学生の人数が減少傾向にある現実を踏まえると、町外からの受入れも重要な方策の一つと考える。これは、高校側の意向や留學生の受入先、サポート体制などの課題も想定される点を踏まえながら検討する必要があると捉えている。他市町村の取組事例の情報収集を行い、効果を検証、分析しながら、高校側と協議していきたい。

**要望** 長年にわたり地域を支えてくれた山田高校を、今度は地域が支える番である。急を要する案件であるので、存続に向け町を挙げていち早く取り組んでいただきたい。

### その他の質問

- ◆ 山田中学校部活動の地域移行を進めよ
- ◆ 山田中学校部活動数の見直しは
- ◆ 町の不登校対策は
- ◆ 教育予算を拡充せよ



山崎 忠弘 議員  
(令和新年会)

## 問 町民のための医師養成奨学金を

## 答 現時点で、創設する考えはない

**問** 医師不足解消のため、町の力で医師を育て、その医師が町に戻り、山田町民のための医療に携わる制度が必要と考える。そこで、町民のための医師を養成する奨学金制度をつくるべきではないか。

**佐藤町長** 県国民健康保険団体連合会が事業主体となり実施している市町村医師養成事業に対し負担金を支出している。この事業により、県内及び宮古圏域の公的医療機関に配置される奨学金養成医師は年々増加し成果が出ていること、また当事業により県全体で取り組むことが効果的であると考えることから、現時点で、制度を創設する考えはない。



県立山田病院では内科・外科医師を募集しています

## 問 防災士の計画的な育成を

## 答 増やす取組を進めていく

**問** 地域防災力を強化するための対策として、自主防災組織のリーダーとなる人などを計画的に防災士として養成していくべきではないか。

**町長** 防災士は防災に

関する専門的な知識や技能を有し、災害発生時の活動などでの重要な役割を担うことが期待されることから、地域防災力の強化に向けて防災士を増やす取組を進めていく。

## 問 「ふれあいパーク山田」の今後は

## 答 道の駅再登録に向け改修工事行う



授乳やオムツ交換ができる子育て応援施設が設置されます

**問** 「道の駅」の指定を解除された産直ひろば「ふれあいパーク山田」の今後の役割・あり方をどのように考えているか。

**町長** 産直ひろば「ふれあいパーク山田」は、特用林産物のシイタケやマツタケを始め、様々な農林水産物や特産品を提供しており、観光客はもとより地元住民にとっても日々の生活に欠かせない大切な施設となっている。引き続き、南方面から

のゲートウェイとして船越半島の魅力ある観光資源を生かした取組を推進していくとともに、高台の立地条件から防災面においても重要な役割を担う施設として整備を進めていく。なお、「道の駅」再登録に向け、要件である子育て応援施設などの時代のニーズに合った改修工事を行うとともに、登録申請の手続きや時期について、三陸国道事務所と協議を進めていく。

## 問 豊間根小学校トイレの全面改修を

## 答 山田小との環境の均一化を考慮



議員 信 根 豊  
( 政 和 会 )

**問** これまで管理については担当部署において今日まで様々な対応をされてきたことと感謝している。現状ではトイレの使用方法に一貫性が取れず戸惑いを覚えている状況もあるようだが、公共の施設として、人と環境にやさしいトイレ・浄化槽・排水路等の全面的工事をすべきと考えるが当局の見解を問う。

**松葉教育長** これまで必要に応じて器具などを更新し児童の生活環境に配慮してきた。大規模な改修については、今後、内容や方法、財源確保などの課題の解決に向けて検討を進め、児童にとって良い



山田北インターフル化イメージ図  
写真提供 三陸国道事務所

生活環境になるよう努めたい。

**問** どのくらいの期間をかけて検討するのか。

**芳賀学校教育課長** 現段階では早期に進めていくとしか言えない。

**問** 早期にとのことだが、トイレは生活環境の点で大事なことでだと思っている。具体的に示していただければ一番いいと思うがどうか。

**学校教育課長** 来年度は山田小学校が新しくなり、船越小学校が統合し、山田小学校、豊間根小学校の町内2校体制となる。学習環境の均一化、公平性は考慮すべきと考える。よって、来年度のうちにはある程度の形を整えたいと思うが、今後国庫事業などの財源をどのように組み立てるかといった部分を具体的に検討していく。

## 問 斎苑前交差点の事故防止策は

## 答 注意喚起看板を設置する

**問** 斎苑から右折した車が対向車線側に進出し、その後正規の車線に入りなおすという大事故につながるように事例があった。当交差点への注意喚起表示について早急に対応すべきと考えるが当局の見解は。

**佐藤町長** 国道45号右側車線に進入禁止看板が設置されているが、斎苑出入口に注意喚起看板を設けるなど、事故防止を図っていく。

## 問 豊間根地区の下水道整備計画は

## 答 現時点では合併処理浄化槽を推進

**問** 豊間根地区の下水道整備については、当地域が広大な面積であることから、莫大な財源を必要とすることで中々実現されてこなかった経緯がある。今後の山田北インターフル化に伴い、経済活動・交流人口の拡大等による加速度的な町の発展には、しっかりとした

理念を持った環境整備が必要不可欠と思うが、当局の見解は。

**町長** 山田北インターフル化整備が進むことを踏まえ、今後の地区内における企業立地や人口動態を注視していく必要があると考えるが、現時点では合併処理浄化槽による個別処理を推進していく。





議員 山崎 昌 和 政 会

## 問 町内インフラの維持、整備は

## 答 順次進めていく

**問** 湾台の道路と新しくできた道路の接続部分で幅員に差があり、車の通行時に片方が停まっているなど、通行に支障をきたしている。早期に改善すべきではないか。

**佐藤町長** 当該箇所の拡幅については、工事発注の準備を進めており、本年度内に完成する予定としている。  
**問** 町道海蔵寺線は劣化や損傷が著しい。降雨時には水がたまり、通行の妨げになっている。国県の復旧事業が終了した現在、町道整備も並行して行わなければ完全復旧と呼べない。整備方針は。

**町長** 周辺水路の改修と道路のかさ上げによる改良整備を計画している。令和6年度は事業用地取得の上、水路の改修工事に着手し、7年度から道路のかさ上げ整備工事に着手する予定としている。

幅員が狭い船越地区湾台の道路



路面や側溝の損傷が見られる町道前須賀・タブの木荘線と早川1号線

**問** 大規模工事になるので、住民への周知が必要になるのではないかと。  
**佐々木建設課長** かわら版などを配布し、周知を図る。

**問** 町道前須賀・タブの木荘線と早川1号線の今後の整備計画は。  
**町長** 6年度に全面的な調査を実施する。これに先行して、現在準備を進めている早川川の改修工事で、河川交差部付近の舗装および側溝を改修する。また、早川1号線の埋もれている側溝も同工事に併せて改修する予定としている。

## 問 ブルーカーボン事業の活用は

## 答 今後検討する

**問** 当町の基幹産業である水産業において、海水温の上昇により水揚げが減少し、団体、企業、そして個人も経済的に苦しんでいるように見受けられる。水産従事者は既存の水揚げ収入以外で、収入を得ようとして努力している。この取組が軌道に乗るまでの支援策が必要ではないか。

**町長** 新たな漁業種への転換や生産体制の改

革などの取組が必要である。漁協等が事業を実施する際は計画策定などを支援していく。

**問** ブルーカーボン事業を活用し、二酸化炭素の排出権取引によって得た収入を、漁業者の生産性向上を図るための資金としてはどうか。  
**加藤水産商工課長** 非常に有効な施策であると思う。今後検討していく。



### ブルーカーボン

海藻藻場などの海洋生態系に取り込まれた炭素のことで、海藻藻場などの保全活動等によって創出されたブルーカーボンを取引する仕組みがあり、創出者は保全活動等の資金確保、購入者（企業・団体等）は二酸化炭素の間接的削減や組織の価値向上が期待されます。

## 問 中央公民館自主事業の再開を

## 答 慎重な検討が必要である



なか や よし のぶ  
中 屋 佳 信 議員  
( 令 和 新 風 会 )

**問** 震災後、様々な芸能人等が来町しコンサート等の復興支援活動を行い、町民は元気づけられた。震災から12年が経過しそのような機会もなくなった。過去にコンサート等を実施していた公民館自主事業はいつまで行われ、どのような事業を行ったか。

**松葉教育長** 平成15年まで継続的に開催し、歌唱コンサートやお笑い芸人のステージ公演等を実施していた。

**問** 具体的にどのような出演者があったか。

**川向生涯学習課長** 平成9年から、野口五郎・風間杜夫・米良美一・ハウンドドッグ・岩崎

宏美・世良公則・テツ and トモ等の出演があった。

**問** 町民が明るく希望を持てるよう公民館自主事業を再開し、継続的に実施できないか。

**教育長** 出演料の高騰や町民ニーズの多様化による入場者減少により事業実施は見送って

いる。公民館の設備や費用面においても慎重な検討が必要である。

**要望** 心の復興や生きがいづくりの面で文化芸術の果たす役割は極めて重要である。町民が身近で純粋にコンサート等を楽しめるように、引き続き検討願いたい。



公民館自主事業の再開が望まれます  
写真は町民芸術祭でのコーラス泉の会の様子

## 問 伝作周辺の安全と環境改善は

## 答 津波避難路案内等の改善を図る



整備が望まれる町道伝作線  
終点にラバーポールが設置されています

**問** 震災前は町道伝作線から公衆用道路につながるが、町立艇庫裏までの道路があったが、災害復旧後は町道終点で寸断されている。町道と公衆用道路の接続及び整備が必要では。

**佐藤町長** 町道伝作線の終点と公衆用道路の間に県有地があることから、県と協議し道路の接続に向けた整備を

検討する。

**問** 伝作裏山の津波避難路について、海側からも避難路があることが分かるように、船揚げ場付近に大きく案内表示が必要では。

**町長** 避難路の入口に建物があり、分かりにくい状況となっていることから、分かりやすい表示の案内板等の整備に努める。



議員 高貴 清 (政和会)

### 問 アワビの放流事業の成果は

### 答 放流員が占める割合年々上昇

**問** アワビなどの放流事業は、磯根資源を守り、漁業所得を向上させる大切な事業と認識している。直近の漁獲量の推移、混獲調査の結果、今後の放流事業について伺う。

**佐藤町長** アワビは令和2年度13・7トン、3年度6・6トン、4年度13トンとなっている。混獲調査で放流員が占める割合は2年度21・1%、3年度28・5%、4年度36・3%であった。年々混獲率が上昇しており、確実に漁獲の下支えをしているものと捉えていることから、今後も放流に対する支援を継続していく。

### 問 空き家調査の結果は

### 答 増加と捉えている

**問** 町内の空き家調査実施時と最新の調査時点での空き家の増減数と主な理由は。また、人口減少対策として移住定住も大きな施策と考えるが、本町の移住ツアーを体験した方々の意見、要望等フォローアップはどのように扱っているか。

**町長** 空き家の増減数は、空き家等実態調査を本年度末までにまとめる。高齢者の一人住まいが多いことから、増加していることと捉えている。移住体験ツアー参加者などの意見、要望等の把握は事後アンケートや聞き取りを行い、その後のフォローアップは、移住者交流会などによりつながりを持つように努めているほか、住まいなどの相談には移住コーディネーターが個別に対応している。

**問** 町内を回ると、高齢者の一人暮らしや、子供が都会に行き、この家を継ぐ人がいないということとを聞く。町には福祉的な面でフォローする体制があるか。

**佐々木都市計画課長** 現在行っている空き家等実態調査の中で、困り事がないか聞き取りをした上で、状況によっては福祉的なフォローが必要なのかケースも考えられる。そのような場合は、関係課と連携しながら対応していく。

**福土長寿福祉課長** 高齢者の困り事については、民生委員などから情報をいただき、状況に合わせて対応している。関係課とも連携し対応したい。

**町長** 一人住まいについては、孤独死ということだけは絶対に避けるようにと強く指示している。



新しく校庭となる旧町民グラウンド

### 問 中学校の校庭用地は

### 答 変更はない

**問** 山田中学校の校庭は、新山田小学校が完成して、最終的にどの位置になるのか。

**松葉教育長** 校庭の位置を変更する予定はなく、旧町民グラウンド陸上競技場を校庭として授業や部活動で使用する。

**問** 小学生、中学生が校庭を共有することに、より事故等の危険はないか。

**芳賀学校教育課長** 業間に外で遊ぶ際は教員が外に出るなどの工夫が必要と考える。

**教育長** 子供たちが安全に活動するための施設の整備は必要と考えるが、小中学生が同じ場所を活用することは、中学生が小学生の面倒を見たりなどのプラスの面もある。そのようなことも踏まえて安全面にはしっかり取り組みたい。

その他の質問

- ◆長崎地区児童公園に遊具の設置は
- ◆水道未給水地区の環境整備は
- ◆農産物の奨励作物は
- ◆運動公園第2グラウンドの活用は

## 問 豊間根小学校トイレの浄化槽化は

## 答 検討を進めていく



議員 木村 洋子  
（日本共産党）

**問** 豊間根小学校のトイレは簡易水洗とはなっているが、くみ取りであり、臭気の問題や衛生上の観点からも浄化槽にするべきではないか。

**松葉教育長** 財源確保や設置条件等の課題の解決に向けた検討を進め、児童にとってより良い生活環境となるように努める。

**問** 多くの住民が利用する集会所等の公共施設のトイレにおいて、コミュニティ形成の場としての利便性の面や避難所としての役割などから、浄化槽化を進めていくべきではないか。

**佐藤町長** 既存の集会所について、これまで簡易式水洗トイレなどへの改修を進めて

きたが、今後、事業費などを踏まえながら浄化槽整備について検討していく。

## 問 産後ケアの現状は



育児相談支援の利用率アップが求められます

## 答 悩みの傾聴など実施

**問** 女性のライフステージに応じた健康支援の在り方が注目されている。とりわけ、産後は心身の体調変化が大きいことから、産後ケアが重要であるが、現状は。

**町長** 母親の身体の疲労回復と心理的な安定を図ることを目的に、来所型や訪問型支援に

より、悩みの傾聴及び効果的な休息の取り方等を助言、授乳支援や育児相談などを実施している。利用状況は、令和5年10月末で45人中29人が利用し、利用率64.4%、延べ利用人数47人である。今後も引き続き利用者の希望に寄り添い、産後のサポートに取り組む。

## 問 医師等養成奨学金の設立は

## 答 現時点で、設立の考えはない

**問** 県内でも、とりわけ沿岸地域は、医師不足が顕著である。地域医療を守る会主催の講演によると、医師だけでなく、レントゲン技師や薬剤師などの医療関係者も不足しているとのことだった。県内の自治体では、医学士対応の奨学金制度を設立し効果が出ているところもある。当町においても医師や医療関係者に対しての奨学金制度を設立し、育成に力を入れるべきではないか。

**町長** 医師の育成については、県国民健康保険団体連合会が事業主体となつて実施している市町村医師養成事業に対し負担金を支出している。当事業により県全体で医師の養成に取り組むことが効果的と考える。医療関係者

については、大学や専門学生に対する奨学金制度を設けているとともに、奨学金の貸与を受け、当該奨学金を返還する方が町内に在任して、民間の診療所等に勤務する場合、奨学金の返還額の一部を助成していることから、現時点で医師や医療関係者に対する奨学金制度を設立する考えはない。

**要望** 以前山田病院に勤務していた際、研修医がいたが、その研修医は奨学金制度で実績を上げている所から来ており、地域医療に貢献したいというのがありありと伝わってきた。奨学金をもらって学業をやっていると、ふるさと愛を感じた。医師の育成を町でも前向きに進めてほしい。



議員 明光 菊地 (新生会)

### 問 山田北インターいつ完成するか

### 答 関係地権者と契約交渉中

**問** 山田北インターについては、関係者のご協力の下、順調に進んでいると思う。これも町民の想いが伝わったものと思いい、町長には感謝申し上げる。そこで伺う。完成年月日について、年度ごとに詳しく述べよ。

**佐藤町長** 現在、三陸国道事務所と町では、フル化工事の早期着工を目指し、関係地権者との契約交渉を進めている。完成時期は現時点で示すことはできないが、早期着工のためには用地取得の完了と、工事費予算の配分が重要となることから、引き続き同事務所と緊密に連携を図りな

**問** がら取り組んでいく。用地交渉は今年度中に全員終わらないか。

**佐々木建設課長** 用地については、今年度内の契約完了を目標としている。



早期着工が望まれる山田北インター

### 問 集会所トイレ洋式化を

### 答 順次進める

**問** 町内に集会施設は何か所あり、そのうちトイレが洋式化されていない施設は何か所か。その施設は今後どうするのか。

**町長** 町内に集会施設は35か所あり、そのうち「和式トイレ」の施設は4か所となっている。洋式トイレへの改修については、順次進めることとしており、今後併せて、浄化槽整備についても検討していく。

### 問 大沢漁港関連道の危険除去急げ

### 答 山所有者に相談し早急に伐採する



適正な管理が望まれます

**問** 大沢漁港関連道は誰が管理しているのか。木や枝が垂れ下がっていたり、道路のわきのり面の土砂が崩れているなど、危険な状態であり、景観上も見苦しい。

**町長** 町道明神崎線として建設課が管理しており、道路内に垂れ下がっている木や枝は山林所有者に相談の上、早急に伐採するよう進め、今後も必要に応じて適宜対応に努める。

その他の質問

- ◆ 両魚市場と組合の水揚げは
- ◆ 町の財産のあり方は
- ◆ 旧防潮堤の今後の利用は

みんなの  
「声」  
vol.24



町民の皆さまからの町への提言、思いなどを紹介します。  
表紙(1ページ)に登場いただいた佐々木さん家族にお話を聞きました。

- 右から
- 吉輝さん
- 悠寿さん (12歳)
- 晴虹さん (9歳)
- 凛々さん (14歳)
- 奈々さん

U・Iターンの背中押して

町の良いところは、保育料が無料の次は給食費が無償になり、3人の子育てをする上で大変助かっています。

町に望むことは

UターンIターンを希望する若者が一歩を踏み出すことができるような手厚い施策をお願いします。

子どもに望むことは

元気にすくすく育ってほしいと思います。また、自分の夢をもって生きてほしいです。

傍聴席からひとこと

～山田高校生の「視点」～

No. 66

山田高校の3年生27人が12月定例会の一般質問を傍聴しました。そこで、3人の生徒に傍聴した感想を伺いました。



ささき ふみや  
佐々木 歩成さん

故郷に貢献したい

実際に議会を見るのは初めてでした。議論を見るうちに、山田町について深く知り、考え、行動に移すことで、故郷に貢献したいとより強く思うようになりました。



さとう ゆうま  
佐藤 雄真さん

議会の雰囲気圧倒

初めて議会を見学して、その雰囲気に圧倒されました。答弁を聞いて、山田町の課題について、興味関心を持って聞くことができました。

多様な質問に驚き

議会傍聴を初めて経験し、多様な内容の質問があることに驚きました。答弁を見て、客観的で具体的なデータをもとに考えを述べる大切さを学ぶことができました。



さいとう はるな  
齋藤 陽愛さん

次の定例会は2月9日(金)に開  
会する予定です。

お気軽にお越しください。

あ  
と  
が  
き

▼議会広報編集特別委員の副委員長を拝命いたしました。これからも、改善点を話し合い、分かりやすい議会だよりを発行してまいります。▼7月の新道の駅やまだ「おいすた」開業後、町外からたくさんのお客が来訪し、町内の商店街にも賑わいが見受けられます。また、12月10日には山田魚市場周辺を会場とする「山田のカキと産直まつり」が開催され、議会広報活動のために出向きました。主催者発表では、来場者が6千人と今までにない参加者とのことで、来場者、出店者の皆様のにこやかな笑顔を見た時の喜びは私一人だけではいけません。今年も町民の皆様のにこやかな笑顔が見られることを願っております。(昆清)

発行責任者

議長 昆 暉雄

議会広報編集特別委員会

委員長 横田 龍寿

副委員長 中野 清

委員 山崎 佳信

委員 山崎 忠弘

委員 山崎 昌信

委員 山崎 泰昌